

煮干しの解剖

小学校理科において、新しくヒトの主な臓器、中学校理科において、無せきつい動物の学習が指導事項として追加されました。なかでも、中学校の無せきつい動物の学習においては、イカの解剖が掲載されている補助教材もあります。ということは、せきつい動物の解剖もぜひ取り組んでおきたいものです。そこで、とっても簡単に、手軽にできる解剖を紹介します。それは、なんと煮干しの解剖です。お店に売っているカタクチイワシの煮干しを使えば、簡単に魚類のからだのつくりを学習することができます。ぜひ、取り組んでみてください。

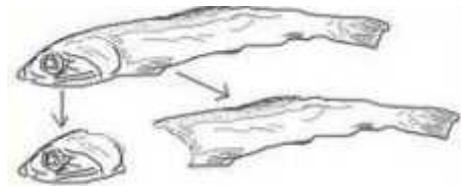
材料と準備物

- カタクチイワシの煮干し
(とにかく大きなものがおすすめです。
せめて8cmくらいはないとやりにくいです。)
- ピンセットまたはつまようじ
- 作業用の紙(A4~B4くらいの紙があるとその上で作業をしたり片付けたりするのに便利です。)
- 台紙、セロテープ(取り出した内臓などの実物をはっておくと整理ができます。)

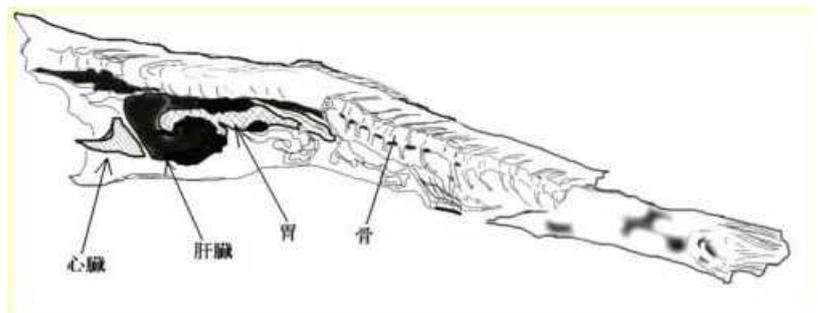
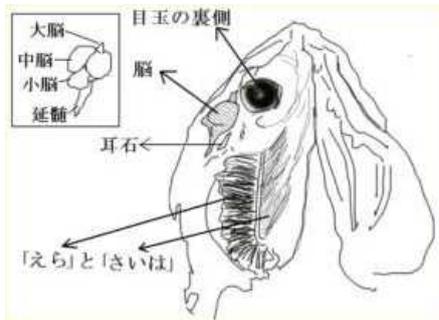


手順

- ①まず、外観をながめましょう。 ②頭をとりはずします。



- ③頭の内部を見ていきます。 ④胴体部分を見てみましょう。
- i 目 ii 脳 iii 耳石 iv さいは i 肝臓 ii 心臓 iii 胃 iv 腸
v 卵巣・精巣 vi 背骨 vii 神経 viii 筋肉



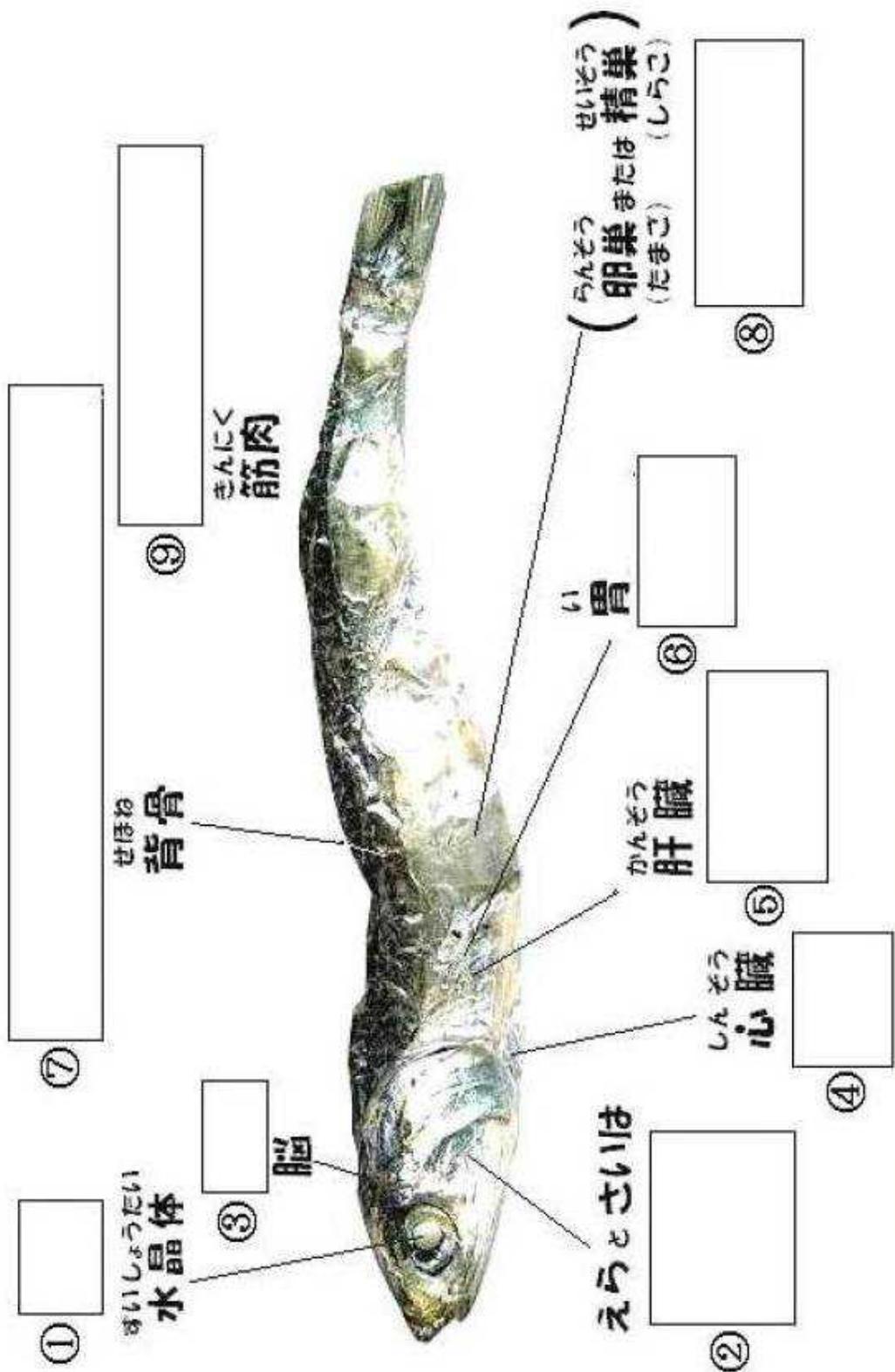
『煮干しの解剖資料室』

<http://www.geocities.jp/niboshi2005/index.html> よりダウンロードしてください。

参考図書:「煮干しの解剖教室」仮説社

年 組 氏名 _____

カタクチイワシのからだのつくり
(煮干し)



<http://www.geocities.jp/niboshi2005/index.html>